



雨の季節が近づいて来ました。時節柄、体調を崩しやすく、新しい環境に慣れてきたとは言え、お子さまの疲れも出やすい時期でもあります。5月の中旬から利用希望のお子さんが多く、ご利用出来ない方もいらっしゃる心苦しく思う日もありました。同じ疾患の場合は、同室でお預かりすることがあり、初めて会うお友だちでも意気投合して遊びが盛り上がる事もありました。

これからもペンギんはうすではお子さまの体調に合わせて楽しく、安心して過ごせる場所であり続けたいと思っています。

いろいろ作ったよ！



赤と黄色のスタンプで桜と菜の花を作ったよ！



「ピンクがいい！」二人同じ色を選びましたが、それぞれ違う物が出来てにっこい！



細かくちぎってステキなリースが出来ました



ローラー、スタンプ、筆…と色々な道具を使って絵の具遊びを楽しんで、美味しいアイスクリームの出来上がり！

熱中症に気を付けて！



夏が近づくと、熱中症で救急搬送されたニュースが増えてきます。毎年注意を喚起されているにもかかわらず、発生してしまうのはなぜでしょう。

熱中症の起こる原因と、症状、対処法について説明します。

熱中症とは、「高温の環境のもとで、体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能が破たんして発症する障害の総称」です。熱中症を引き起こす条件は、天候面では、気温が高いだけでなく湿度が高いこと、風が弱いこと、日差しが強いことです。活動面では、激しい労働や運動によって体内に著しい熱が産生されること、体調面では、暑い環境に体が十分に順応できていないことなどが挙げられます。普段から汗をかく習慣がないと、いざ暑くなってからも汗をあまりかけないために体温が下がらず、しかも、塩分が多量に体外に出てしまい熱中症にかかりやすくなります。

乳幼児は熱中症になりやすいと言われています。その理由として、体温調節機能が未熟、体表面積が大きく熱しやすく冷めやすい、遊びに夢中になったりして自分から水分を飲む意思表示をあまりしない、身長が低いと地面からの熱で大人より暑い環境にいるなどが挙げられます。

熱中症は症状によって以下のように分類されています。

- 軽 症…めまい・立ちくらみ、筋肉痛・こむら返り、気分の不快
- 中等症…頭痛、吐き気、嘔吐、倦怠感、虚脱感
- 重 症…意識障害、けいれん、手足の運動障害、高体温、血液検査異常

対処法は、涼しい場所への避難、足を高く上げて横にする、脱衣と冷却(水をかけてあおぐなど)、水分・塩分補給です。それでも改善しない場合は医療機関を受診しましょう。

熱中症は、こまめな水分補給、室内や車内に放置しない、室温を適正にすることなどで予防できる疾患です。暑くなる前から、十分に運動をして汗をかく習慣を身につけておくことも大切です。暑さに順応しやすくなり、塩分の比較的少ないさらっとした良い汗がたくさん出るので熱中症の予防につながります。

また、環境省などが毎日発表している暑さ指数(WBGT)も、熱中症が起こりやすいかどうかを見るのに大変有用です。ぜひ、そういった情報を見ながら、熱中症をおこさないようにしていきましょう。

初めての瞬間！

保育園では、「立ち上がった！」「初めての1歩！」等、お子さまの大きな成長の瞬間に立ち会える事があります。ここペンギんはうすでも、何度かご利用のお子さまで初めて寝返りが出来ました！や、家では5・6歩程しか歩いてなかったのに12歩も歩いた！等、嬉しい場面に遭遇出来て保育士皆で喜びました。これからの保育の中でも、そんな瞬間に出会え、保護者の方と成長を喜び合える事を楽しみにしています。



病児保育室 ペンギんはうす  
〒657-0082 神戸市灘区畑原通3丁目1-17  
コージーネストマヤ2A  
TEL/FAX : 078-882-8608  
<https://www.kajiyamakids.com/penguinhouse>